

看護大通信

77



調べる第2段階。第1・2段階の結果をもとに、「く

そして十分に説明を受け、ご自身で理解、納得し同意を得られた方に参加していただきます。治験参加中は色々とお守っていたことがありますが、より詳しい検査や診察が行われ、いつもより診察費などが少なくなる場合があります。それでも参加する方にとって、治験は不安なものですね。もちろん医師から勧められなくても断って構いません。いつでも、どんな理由でもやめることもできますし、やめても何の不利をうけることもありません。また、治験の専門家C R C (臨床研究コーディネーター) が治験に関して何でもご相談を受け、安心して参加していただけるようお手伝いします。「治験」は未来の医療のために大切なものです。

新潟県立看護大学

精神看護学

助手 川里庸子

みなさんが使っている薬。その薬を安心して使えるようになるまでには、十年以上の歳月と多くの方の協力が必要です。開発された

と安全性を調べるだけでなく、治験に参加する方の安全や人権が守られなければいけません。このため国が厳しいルールを定め、それに従って治験は段階を経て進んでいきます。

すりの卵」の効き目や副作用が、より多くの患者さんにも当てはまるのかを確認したり、すでに使われている薬と比較したりする第3段階。これらの結果をまとめて国に提出し、承認されて初めて

「くすり」となるのです。治験へ参加するには、医師から患者さんに勧めるケース、病院内の募集ポスターや新聞・雑誌・インターネットでの募集を見て、患者さん自身が応募するケースなどがあります。治験では参加基準が細かく決められていますので、まず応募された方の中から、その基準に合った方が選定されます。

「治験」をご存じですか？

るわけで

はなく、安全性、効き目、

副作用などを確認して国の承認を得なければ、薬

として一般に使用できませ

せん。このように新しく

開発された「くすりの卵

」が、「くすり」となる

ための試験のことを「治

験(ちけん)」といいます。

治験は「くすりの卵」

を人に使うため、効き目

健康な成人に「くすりの卵」をごく少量から使

い、少しずつ量を増やし

ながら、吸収の速さ、体

外に排出されるまでの時

間、副作用などを詳しく

調べる第1段階。第1段

階で調べた「くすりの卵

」を少数の患者さんに

使い、効き目や副作用、

効果的な使い方について

師から患者さんに勧める

ケース、病院内の募集ポ

スターや新聞・雑誌・イ

ンターネットでの募集を

見て、患者さん自身が応

募するケースなどがあり

ます。治験では参加基準

が細かく決められていま

すので、まず応募された

方の中から、その基準に

するには、医

師から患者さんに勧めら

れるケース、病院内の募

集ポスターや新聞・雑誌・

インターネットでの募集を

見て、患者さん自身が応

募するケースなどがあり

ます。治験では参加基準

が細かく決められていま

すので、まず応募された

いつでも、どんな理由で

もやめることもできます

し、やめても何の不利を

うけることもありません。

また、治験の専門家

C R C (臨床研究コデー

イナーター) が治験に関

して何でもご相談を受け、

安心して参加していただ

けるようお手伝いします。